

Ⅲ 発問についての調査研究事例

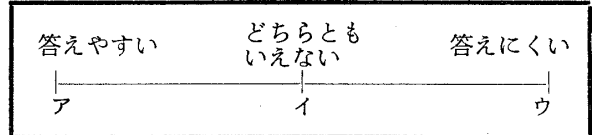
酒井 為久 三谷 みちる

Ⅰ 調査研究のねらい等

生徒にとって、どのような発問が答えにくいかを知るために本校生徒中学3年生92名と、高校2年生87名を対象に次のようなアンケートを試みた。

「国語の授業における教師から生徒への発問には、次のようなものが考えられますが、次のうち該当する

ものに○をつけなさい。」として、51の発問例をあげそれぞれに下のものを付した。45年11月上旬実施。



Ⅱ 調査の結果

発問例	中 3				高 2			類 型	
	ア	イ	ウ		ア	イ	ウ	中	高
1. 文法的に説明しなさい	7	11	74	80%	12	21	54	A ₁	A ₁
2. 文の構成はどのようになっていますか	10	24	58		5	34	48	A ₁	A ₁
3. 筆者の着眼点について述べなさい	6	29	57	60%	9	30	48	A ₁	A ₁
4. まとめなさい	9	29	54		11	29	47	A ₁	A ₁
5. この部分は全体の中でどのような役割を果たしていますか	12	27	53	50%	6	23	58	A ₁	A ₁
6. 表現効果を述べなさい	12	32	48		9	21	57	A ₁	A ₁
7. どのように描写されていますか	14	32	46	50%	11	31	45	A ₁	A ₁
8. 筆者の態度について述べなさい	16	32	44		10	17	60	A ₁	A ₁
9. 理由を述べなさい	25	24	43	40%	18	37	32	A ₂	B ₁
10. 登場人物の作品における役割について述べよ	17	34	41		21	28	38	A ₁	A ₁
11. ～について発表しなさい	19	34	39	40%	21	11	55	A ₁	A ₂
12. 感想を言いなさい	31	22	39		39	20	28	A ₂	C ₂
13. 何を表現しているのですか	16	38	38	40%	18	30	39	—	A ₁
14. 表現の特長はどんなことですか	17	37	38		11	34	42	A ₁	A ₁
15. 意味を説明しなさい (文の場合)	25	30	37	40%	15	41	31	A ₁	B ₁
16. 題名をつけなさい	32	23	37		39	27	21	A ₂	C ₁
17. 説明しなさい	20	36	36	40%	14	30	43	—	A ₁
18. 筆者の主張していることは何か	22	34	36		29	29	29	A ₁	D
19. 描写のすぐれた点を述べなさい	31	25	36	40%	17	28	42	A ₂	A ₁
20. この文はどの文にかかっているのですか	30	28	34		44	24	19	A ₂	C ₁
21. 補足しない	17	42	33	40%	18	31	38	B ₁	A ₁
22. 調べなさい	26	33	33		13	38	36	—	B ₁
23. 筆者 (又は登場人物) の気持を述べなさい	30	30	32	40%	18	42	27	—	B ₁
24. 見出しをつけなさい	28	33	31		36	24	27	B ₁	C ₂
25. どう思いますか	42	19	31	40%	35	19	33	C ₂	C ₂
26. 分類しなさい	15	47	30		21	32	34	B ₁	A ₁
27. 列挙しなさい	17	45	30	40%	51	23	13	B ₁	C ₁
28. 略されていることばを補いなさい	27	35	30		23	35	29	B ₁	B ₁
29. どういう関連がありますか	19	44	29	40%	16	36	35	B ₁	B ₁

30. 原因は何ですか	29	35	28	30%	17	35	35	B ₂	—
31. 三つの部分に分けなさい	34	30	28		43	19	25	C ₁	C ₂
32. 例示しなさい	23	42	27		33	32	22	B ₁	C ₁
33. 段落に分けなさい	29	36	27		⑤②	21	14	B ₂	C ₁
34. 筆者の立場を述べなさい	29	37	26		10	31	④⑥	B ₂	A ₁
35. 批評しなさい	38	28	26		④④	17	26	C ₁	C ₂
36. 意味を言いなさい (ことばの場合)	42	24	26		33	39	15	C ₂	B ₂
37. 最も心を動かされたのはどういうことか	43	23	26		⑤①	19	18	C ₂	C ₁
38. 現代語ではどう言いますか	36	31	25		19	④⑤	23	C ₁	B ₁
39. どういう関係ですか	19	⑤①	23		20	38	29	B ₁	B ₁
40. 言い換えなさい	27	42	23	20	36	31	B ₂	B ₁	
41. 抜粋しなさい	16	⑤④	22	33	35	19	B ₁	B ₂	
42. 短文を作りなさい	42	29	21	41	25	21	C ₁	C ₁	
43. 指摘しなさい	30	43	19	37	30	20	B ₂	C ₁	
44. 比較しなさい	34	39	19	27	31	29	B ₂	B ₁	
45. どう感じましたか	⑤①	22	19	④④	26	17	C ₁	C ₁	
46. 探し出しなさい	41	33	18	④④	32	11	C ₁	C ₁	
47. 書き直しなさい	37	38	17	19	④⑦	21	B ₂	B ₁	
48. 箇条書きにしなさい	⑤③	18	16	④⑧	27	12	C ₁	C ₁	
49. 共通点は何ですか	35	44	13	26	37	24	B ₂	B ₂	
50. 相違点は何ですか	41	40	11	34	37	16	C ₁	B ₂	
51. 作者 (又は登場人物) はどこにいて何をしていますのですか	④⑨	36	7	10%	④⑨	23	15	C ₁	C ₁

注・○は50%以上のもの・数字は実数

Ⅲ 類型の説明とそれに属するものの比率

類 型	ア	イ	ウ	中3	高2
A ₁	○	◎	◎	26	31
B ₁	○	◎	◎	18	22
B ₂	◎	◎	○	16	8
C ₁	◎	◎	○	18	24
C ₂	◎	○	◎	6	10
A ₂	◎	○	◎	10	2
D	○	○	○	(0)	(2)
A ₁ B ₂				(6)	(2)
B ₂ C ₁				(2)	(0)

左側の◎◎○は、調査結果の実数の比較多数順を示している。右側の比率は、類型に属するものの比率である。

Ⅳ まとめ

調査数が少ないので断定的なことはいえないが、調査結果から大きな傾向をつかむことができる。

考えをまとめて客観的に答えるのはむづかしく、技術的に主観を答えるのは簡単である。具体的な発問は答えやすい。読解力が身についたり、批判力がでてくるにつれ、答えにくさに変化の出てくるものと、変化の出てこないものがあり、注目される。全体として、高校生の方が国語における発問というものを理解しているようだ。という傾向を示す資料として、今後の実践の中で確かめ、研究を深めていく出発点にしたいと考えている。なお、アンケート作成の作業は三谷があった。